

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年3月8日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年3月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【パワーセンター5Aにおける保護継電器の管理値逸脱について】 当社社員が、5号機のパワーセンター5A点検において、保護継電器のリレーが本来動作するべき管理値を下回って動作することを確認。 原因は、当該機器の経年劣化によるものと推定。 現在の点検期間中に、使用していない設備の同型機器を活用し交換予定。	GⅢ	3月1日
2	【原子炉建屋低圧電源盤における限時継電器の管理値逸脱について】 当社社員が、5号機の原子炉建屋低圧電源盤5A-1および5A-2の点検において、限時継電器の動作時間が管理値よりも早く動作することを確認。 原因は、当該機器の経年劣化によるものと推定。 現在の点検期間中に、使用していない設備の同型機器を活用し交換予定。	GⅢ	3月1日
3	【既設多核種除去設備(C)吸着塔10C入口のホース接続部にじみについて】 当社社員が、現場パトロール時に既設多核種除去設備(C)吸着塔10C入口のホース接続部にじみが発生していることを確認。 滴下はないが、念のため袋養生および隔離処置を実施済み。 原因は、パッキンの劣化によるものと推定。 他系統が複数運転可能なため、水処理に影響なし。 今後、当該設備のパッキンを交換予定。	GⅢ	3月3日